

# 輝け古舞っ子

令和5年度  
幕別町立古舞小学校  
学校だより 第373号  
令和5年12月22日

「切り取られた情報の外側を見る難しさ」

校長 猪股 宏 亮

最近、閉校と退職が近づいてきたので、寄稿の依頼が来ることが多くなりました。

中学校の体育教師の21年間、2つの日本人学校で働いた3年間、教頭の9年間、校長としての8年間の4つのステージで働いてきました。加えるならば、「コロナ禍の3年間」というのも特別なものとして、深く記憶に刻まれました。子どもの命と健康最優先の3年間でした。

ミレニアムの年に、志を高くして海外での仕事に挑戦しました。世界に100か所以上の日本人学校と補習校があり、アフリカや中南米、中央アジアや西アジアなど、どこに行くのかは文科省次第でした。「テロの危険性のある中東と、反日・抗日の中国・韓国だけは行きたくないな…」とっていました。テロも反日も嫌というほど国内で擦りこまれてきた「情報」です。

派遣先が「ドーハ」と、伝えられた時の衝撃は忘れられません。頭の中が本当に真っ白になりました。「ドーハの悲劇のドーハだよ。」当時の教頭先生にそう伝えられた時は、正直笑えませんでした。「無事生きて帰ってこられるのだろうか。」そればかりを考えていました。

2000年の4月7日、飛行機を4回乗り継ぎ、深夜1時にドーハ空港に着きました。タラップを降りた時、深夜だというのに熱風が全身を包み、一瞬で汗にまみれました。さらにターミナル行きのバスに乗り込むと、民族衣装の白（男性）と黒（女性）の巨漢たちに囲まれ、その場で踵を返して、即刻日本に帰りたくなりました。恐怖しかありませんでした。

毎日がイスラム社会のカルチャーショックの連続でしたが、数日もするとそれが病みつきになり、もっともっとという欲が出てきました。住めば都と言いますが、暮らしてみるとイスラム教ゆえの厳しい戒律に守られた社会は平和そのもので、小さな犯罪すらほとんどない世界屈指の治安の良さでした。また、石油と無尽蔵の天然ガスで潤うカタールは、Tax Free、つまり税金も一切なく、ハイオク1ℓ19円という驚きの価格でした。長い夏は連日45～50度（日陰）、日向では68度にもなる砂漠気候も、半年もすると38度が涼しいと感じられるようになりました。実際に暮らしてみると、出発前の印象と180度変わるのに、時間を要しませんでした。

ドーハ日本人学校が生徒数の減少で2年目の年度途中で閉校となりました。閉校の3週間前に文科省から上海への異動を告げられました。2番目に行きたくなかった反日イメージの強い中国です。ところが、上海の空港を一步外に出た瞬間、漢字の看板、日本人とそん色のないアジア人の顔が強烈に視界に飛び込んできました。「帰ってきた！」と、心底そう思いました。想像を絶する安堵感でした。イスラム世界がいかに異文化だったのかを思い知らされました。

中国では毎日のように、鬼畜日本兵が極悪人として登場する戦争ドラマが、これでもかというくらい大量に垂れ流されていました。最後はきまって日本兵が滅びる水戸黄門的なエンディングでした…。しかし、中国ではただの1度も、中国人から何か言われたり、されたりしたことはありませんでした。私が接してきた中国人は、みんなそろいもそろって、拍子抜けするくらいとても友好的でした。日本で見てきた映像、情報は何だったのだろうか？そう思いました。

人民服、公安、反日…社会主義のイメージはどこ吹く風…。人々の日常はエネルギーにあふれ、自由闊達に生きていました。がんじがらめの日本よりもよっぽど自由に映りました。そのことを日本人学校の先輩たちに尋ねると、「そうだよ。社会学者も日本は唯一、世界で成功した社会主義の国だと言っているくらいだからね…」と、答えが返ってきました…。

どちらの国も、行く前と後とでは180度印象が変わりました。メディアは切り取った情報の一部しか伝えられない…。メディアを通して伝えることの難しさを改めて知りました…。教える立場、伝える立場の責任は重い。情報の受け取り側も、真実を見極める目を持たなければ…。

# 歌声を取り戻せ



コロナ禍によって、感染のまん延防止のため、「歌わない。大きな声を出さない。距離を保つ。」という指導が3年間徹底されてきました。「給食中もしゃべらない。」休み時間も「大きな声を出さない。」という具合でした。当初は合唱も禁止でした。器楽や鑑賞のみが許されていました。

そんな3年間を過ごした子どもたちの声帯はすっかり委縮し、私が赴任したコロナ禍3年目の昨年、校歌を始めとした合唱は、本当に壊滅的な状態でした。

閉校がきまり、式典や最後の卒業式で子どもたちの歌声を取り戻したいという思いを年度当初に掲げ、職員一同、一丸となって一所懸命取り組んできました。外部講師を招へいしたり、歌声集会を開いたりした他、各学級でも朝の会などで、毎日のように取り組んできました。

学芸会での発表が大きな自信となったのか、12月のさわやかタイム（全校朝会）では、**すっかり元気がなった校歌が聞けるようになってきました。**式典や卒業式で、さらには札内南小学校や札内中学校でも、元気な歌声を響かせてほしいと願ってやみません。

## 全校参観日 情報モラル研修

12月7日（木）今年最後の参観日が行われました。参観日に合わせて外部講師を招き、情報モラル



について保護者・児童・職員の三者が学びました。

講師は、つつじが丘小学校の工藤美栄子先生にお願いをいたしました。「元気な脳でかっこいい自分に～メディアのよき使い手として」というタイトルでご講話いただきました。

スマホ等の情報機器を責任をもって使うために、何が必要か、どういう考え方や行動が必要かということ学びました。

インターネットの登場以降、情報が洪水のように溢れ、情報の渦の中に飲まれて炎上したり、誹謗中傷の加害者や被害者になったりと、情報を発信する際にも、情報を受け取る際

にも、細心の注意を必要とする時代になりました。

研修では、**読書や外遊びと学力の関係や、睡眠と端末やゲーム、学力との相関関係**について学びました。高学年にもなると深夜遅くまでネットやゲームなどをしている児童もいたようで、耳の痛い話だったようです。今回の学びを機に、**親子でゲームなどの取り決めをしっかりとる**よう、工藤先生も口を酸っぱくして話をしていられました。奇しくもその翌日、ネットの記事で**20代の6割以上がスマホ依存を自覚しているという記事**が出ていました。幅広い世代でスマホ依存が広がっていることのように、**目の疲労**も問題だという内容でした。

大人でも際限なくスマホをいじってしまう時代です。大人でもコントロールすることが難しい、ネットゲームやスマホの扱いです。子どもたちに自主管理しなさいというのは、酷な話です。だからこそ、親子での話し合いや取り決め、約束をやぶった時のペナルティーなどをきめ細かに決めておかないと、依存度がうなぎ上りになってしまうのだと思います。便利なツールですが、危険なツールでもあります。心身を病んだり、命を落としたりするケースもままあります。

下校するや否やカバンを玄関に放り出して、外で遊んでさえいればよかった時代に生きた私たちの世代は、ある意味幸せだったのかもしれない…。

# 人権教室

12月12日（火）人権教室が行われました。

役場の担当者の方などを含め、6名もの関係者が来校し、人権教育に関する学習を行いました。

低学年では、人権カルタなどを通して、思いやりや尊重する心を育む教育活動が行われました。講師の皆さん、ありがとうございました。



# 地域貢献事業

学校北側の道路工事に伴い、改修工事を進める

事業会社より、「地域貢献事業」の申し出がありました。

学校として、工事車両や工事の様子体験学習と学校周りの環境整備をお願いしたところ、快く引き受けていただきました。

校庭の車庫付近のガードレールの修復修繕、保育所歩道の修繕を行いました。

12月13日（水）には、工事車両の説明を受けたり、高所作業車乗車体験を行ったりしました。高所作業車の乗車体験では、12mもの高さから、学校や近隣センターの屋根を見下ろすことができ、子どもたちも、「高い」や「怖い」と、歓声を上げていました。



また、測量の機械も覗かせてもらいました。遠くにある鉄塔が直ぐ近くに見え、子どもたちは黙々と、何度も何度も覗いていました。

様々な職業に関心をもつことを通して、キャリア教育であったり、感謝の心を育んだりする機会となりました。

また、現在行われている歩道施設工事によって道路の幅が広がることにより、車道に太陽の光がよく当たるようになり、凍結路面が減るとのことでした。

事業所のみなさん、ありがとうございました。



# とんぼ玉づくり

12月6日（水）PTA母の部の研修の一環として、ガラスを熱し、色を付けて作る「トンボ玉づくり」を見学と一緒に行いました。



ガスバーナーの炎（熱）を用いて作るため、児童の表情も真剣です。その真剣な表情で作業する児童の姿を見つめる児童も、また真剣な表情で見入っていました。いい緊張感の中で作業をしました。

完成後には、PTA母の部のみなさんと、出来上がったトンボ玉と一緒に記念撮影をしました。母の部の皆さん、ありがとうございました。




# 1月の行事予定

冬至が近づくとわくわくします。もう少しで日が長くなって来る…。しかし、寒さのピークはこれからなんですよね…。

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	月	元旦 学校閉庁日	17	水	2計測 研修日
2	火	年始休業 学校閉庁日	18	木	
3	水	年始休業 学校閉庁日	19	金	
4	木		20	土	
5	金		21	日	
6	土		22	月	学力検査 児童会⑩
7	日		23	火	学力検査 歌声集会⑤
8	月	成人の日	24	水	学力検査 スケート記録会
9	火		25	木	記録会（予備日）
10	水		26	金	
11	木		27	土	閉校記念式典及び惜別の会（登校日）
12	金		28	日	
13	土		29	月	振替休日
14	日		30	火	札内南小交流学習④
15	月	3学期始業式	31	水	研修日⑭ 月末統計
16	火	2計測 冬休み作品展			

# 12月のできごと

日	曜	主なできごと
11月		<p>十勝子ども大会 11月で掲載できなかった分の写真を掲載します。 5年生 家庭科部門 ティッシュカバー 速水七望さん <b>特選</b> おめでとうございます！丁寧に作成しました。 速水七望さんは、前号でもご紹介した通り、この他にも、書写で佳作、絵画と工作の部でもそれぞれ入選し、合計4つの部門で入賞しました。11月30日、全校朝会で改めて表彰しました。</p> 
7日	木	<p>全校参観日～情報モラル教室 つつじが丘小学校の工藤美栄子先生を招き、情報モラル教育について学習をしました。外遊びや読書と学力の関係、スマホやゲームと学力の関係など、成長期の子どもの脳の発育や学力とメディアとの関係について深い学びをすることができました。 さっそく各家庭でもゲームや端末使用の取り決めについて見直しを図ったようです。早く気づけて良かったですね。</p>
19日	火	<p>勝毎見学学習（高学年） 社会見学学習で高学年が十勝毎日新聞社に出向き、印刷工場などを見学してきました。昨今では、スマホやパソコンのニュースが主流となりつつありますが、情報モラル教室でも工藤先生が強調していました。「読書（新聞も含めた幅広い文字文化に触れること）、しかも音読をすることで飛躍的に脳が活性化する。」と。もっと新聞を読みましょう！</p>